

機械工作技術研究会（オンライン）参加報告

工作部門 機械加工技術班 林 祐太

1.はじめに（目的等）

本研究会は大学等で機械工作を業務とする技術職員を対象とした研究会であり、開催校の実際の現場の見学等を利用し職務に必要な実践的技術を共有することにより機械・工作分野における見識を育むことを目的として開催されている。今年度は9月に静岡大学で開催される予定であったが、コロナ禍の影響により中止（1年延期）となっていたが、情報共有の場としてオンラインでの情報共有の場が用意されたため、これに参加した。

また、静岡大学での開催の次回開催校として広島大学が決定しており、開催準備のため情報収集を行う。

2.期間・場所

期間：2023年3月15日 13:00-17:00

開催幹事：九州工業大学

開催ツール：Zoom

3.参加者等

22機関 35名

4.研修内容

1. 口頭発表（4件）
2. グループワーク（小テーマ・自由テーマでの話し合い形式）
3. 全体ディスカッション（工作室の運営予算）

5.まとめと感想

研究会では、発表や演習中も意見交換が活発に行われており、他大学の方が受講されている講習やプログラムを利用した業務のDX化などについても情報を得ることができた。口頭発表では「疑似平面ローレット加工」と題して発表を行い、発表内容に対して、フィードバックをいただけ今後の加工方法の検討時にも役立つ有益なものとなった。また、グループワークでは進行役を担当するなど他の職員との交流を行うことができた。

対面開催としては次回が静岡大学、次々回が本学と予定されており、今後の状況次第で開催年度は変更される可能性もあるが、得られるものの多い研修を開催できるよう準備を進めていきたい。